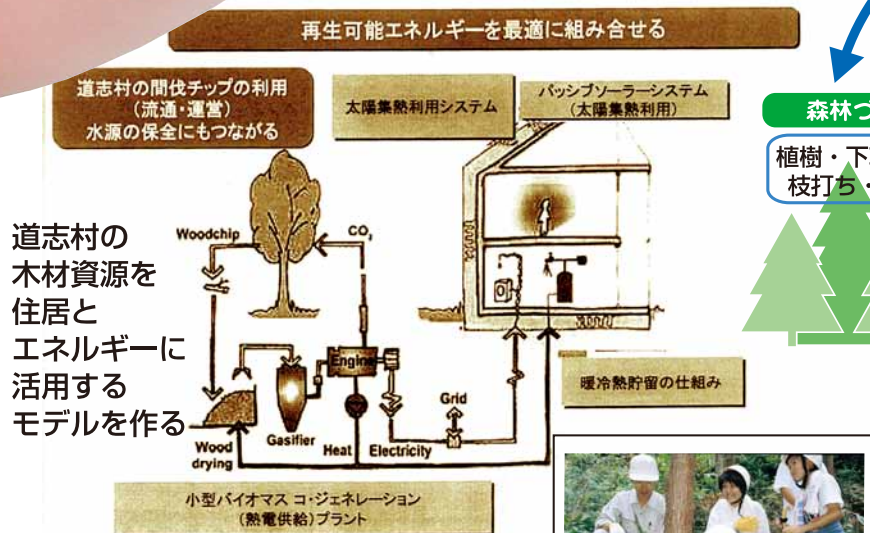




つなげたい。水と緑の120年。



バイオマスタウン構想・木質バイオマス事業

バイオマスとは、生物資源(バイオ)の量(マス)をあらわし、エネルギー源として再利用できる動植物から生まれた有機性の資源のことです。また、石油や石炭などの化石資源と対比して、「生きた燃料」ともいわれています。道志村の豊かな森林資源を活かして、環境と調和して持続的な発展が可能な資源循環型社会を目指します。木質バイオマス利用開発を横浜市と共同事業で進めていきます。バイオマスタウン構想をさらに推しすすめてバイオエタノールを生産して、住みやすく、豊かな道志村になります。



「緑のダム」を守ってます。

道志村の約半分を占める民有林の中には、人手不足で管理が行き届かない森が増え、水源かん養機能の低下が進んでいます。森を再生させるため、ボランティア活動組織「道志水源林ボランティアの会」と横浜市水道局水源管理所で力を合わせます。

緑のエコライフ

- 森林とのふれあい体験学習
- 国産材の製品利用
- 森林でのボランティア
- バイオマスエネルギーの利用

森林づくり

- 植樹・下草刈り
- 枝打ち・間伐

省エネ・省資源

- CO₂の吸収

森林の恵み

- 洪水防止 土砂崩れの防止
- 野生生物の保護
- おいしい水 豊かな漁場
- 森林浴による癒し



11.1 [日] ~7 [土] 人権啓発週間

村民が互いに助け合い、支えあって築き上げた道志村も120周年を迎えました。小子高齢化社会の今、人権について理解を深め、差別の明るく住みやすい道志村を守り続けていけるよう、人権啓発活動の一週間が始まります。

11.3 [火] 人権啓発講演会 弁護士 本村健太郎氏講演会

女性の人権、子どもの人権、高齢者や障害者の人権など人権擁護の理解を深めるため、テレビ「行列のできる法律相談室」でおなじみの本村健太郎弁護士人権について講演。

11.3 [火] 水源の郷演会



7.5 [日] 未来への手紙投函

10年後の自分や家族宛に手紙を書きます。120周年事業専用ポストに投函。役場で10年間保管をし、送付します。環境に配慮し牛乳パックなどリサイクルはがきを作成します。

旧小学校久保分校施設利用計画



こども農山漁村交流プロジェクト

よこはま若者自立塾

旧久保分校を今年度中に改修工事で完成いたします。道志村の間伐材をふんだんに利用して、バリアフリーのウッドデッキなど都会からの利用者に、木材の持つ温かみや安らぎを与える設計です。

小学校5年生を対象とした、体験学習の「子ども農山漁村活性化プロジェクト」や若者の自立支援や様々な活動・体験を行う「よこはま若者自立塾」に利用されます。また村民の創意工夫によるさまざまな利用ができる施設です。

